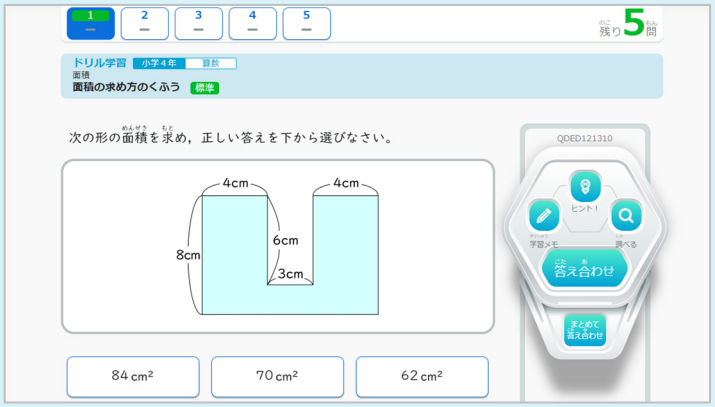
eライブラリで学習履歴のみとりと声かけ　Part 1

Q 「気になる子」の学習履歴を見たい

A： 学習履歴を個人別に確認することができます。**授業の様子やテストの結果では気が付かなかった学習意欲の変化や学び方の特性を知り**、児童生徒の指導に生かすことができます。

【先生メニュー】
▶【成績管理へ】
▶【個人ビュー】

ポイント　「わかったふり」「わかったつもり」を学びのきっかけに



●自動採点

ドリルはすぐに正誤判定されるため、自分で学習理解度を知ることができます。

●ヒント・調べる・学習メモ・解答解説

ドリルの機能を活用する習慣を身に着けさせることで、丁寧に解く方法や正しく理解する方法を指導することができます。

eライブラリで学習履歴のみとりと声かけ　Part 2

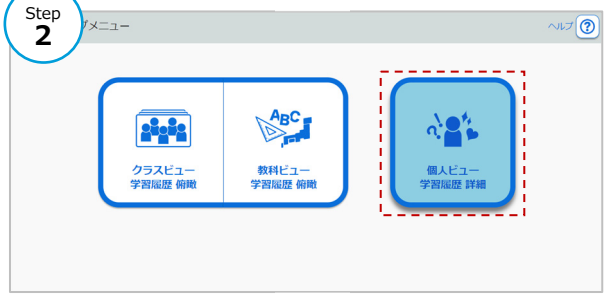
Q 学習履歴から「声かけが必要な子」を知りたい

A：クラス毎にドリルや確認テストの学習回数、平均点などの並び順を変更して、学習履歴を確認することができます。**個別に声かけを必要としている児童生徒を見つけ出し**、指導に生かすことができます。

【先生メニュー】
▶【成績管理へ】
▶【個人ビュー】

Step 1

Step 2



Step 3 並べ替える

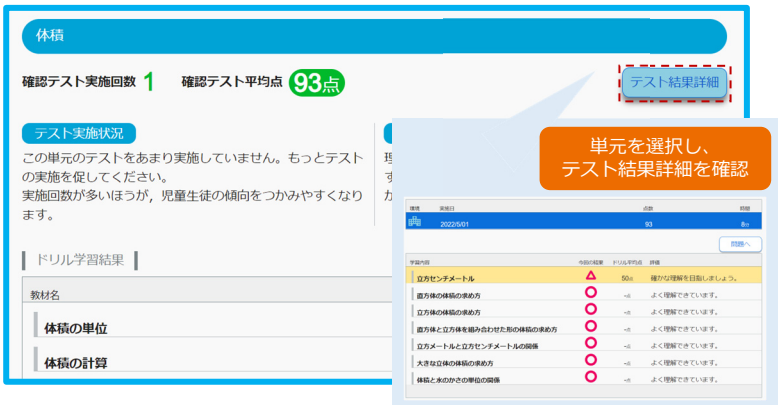
>>>Step4へ続く

Step 4 声かけする児童生徒の成績を確認する

Step 5

Step 6

Step 7 テスト結果詳細を表示する



ポイント　先生の声かけが子どもの主体性を伸ばす

●並び替え

模範的な学び方や意図しない学び方など学習履歴は十人十色です。様々な項目で並び替えることで、支援を必要とする児童生徒に気づくかもしれません。

【確認テスト平均点が低い順】
単元の理解ができていない児童生徒を見つける

【ドリル実施回数降順】
積極的にドリル学習している様子を把握

【解説教材・確認問題の学習回数昇順】
学習のしかたや理解できていない箇所を解説教材などで確認しているか確かめる

【ドリル平均点が低い順】
「リトライ」「学習時間」から理解して学習を終えているか確かめる